さんにち NIE ワークシート

山梨日日新聞

年　　組　名前：

昭和の鉄道写真集に

常磐ホテル・笹本社長

趣味でボロ電、あずさ撮影

甲府・常磐ホテル社長の笹本健次さんは、昭和30～40年代に趣味で撮影した鉄道を収録した写真集「昭和40年頃の山梨の鉄道追想」を刊行した。ボロ電の愛称で親しまれた山梨交通電車や、1966年に運行が始まった中央線初の特急であるあずさを収めている。

笹本さんは幼い頃にホテルの2階から蒸気機関車を見たり、墓地がある寺の脇を走る列車を見たりして鉄道が好きになったという。小遣いをためて小学6年の頃に初心者向けカメラ「フジペット35」を買い、鉄道の写真を撮るようになった。大学在学中は鉄道雑誌の編集部でアルバイトし、撮影のために全国を訪れた。

「蒸気機関車から電車へと変遷する時代を振り返りたい」と、写真集には小学6年から大学卒業までの1961～73年に撮りためた写真を収めた。甲府駅に停車している蒸気機関車や長坂駅付近を通過する特急あずさを時代を追って紹介。身延線や小海線、富士急行線の車両や1972年に撮影した県内の旧国鉄の有人駅計38駅の外観写真も掲載している。

長坂駅付近を走る特急「あずさ」（1969年撮影、「昭和40年頃の山梨の鉄道追想」から）

笹本さんは「鉄道ファンだけではなく、多くの人に山梨の鉄道の変化と発展の様子を楽しんでもらいたい」と話している。124ページで、2700円（税別）。県内の書店などで販売している。

〈坂本尚己〉

鉄道写真集「昭和40年頃の山梨の鉄道追想」を刊行した笹本健次さん＝甲府市湯村2丁目

（2020年9月4日付 山梨日日新聞 18面）

問1

笹本さんが、鉄道が好きになったきっかけは何ですか。

.....

.....

.....

問2

写真集には、西暦何年から何年までに撮りためた写真を収めていますか。

.....年から

.....年まで

問3

現在、県内を走る鉄道の路線名を4つ書いてください。

・.....

・.....

・.....

・.....

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2020 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.